

B. 日本獣医病理学会

ワークショップ

3月31日(木) 第2会場 演題番号 BW-1~BW-6 9:00~12:00

座長: 佐藤真澄(動衛研)、川島健司(動衛研)、芝原友幸(動衛研)

家畜感染症の病理-人体病理との交流: 第2回 豚疾病をてがかりとして

BW-1	ヒト腸管スピロヘータ症	93
	緒方 衝 (防衛医大 臨床検査医学)	
BW-2	ブタとウマのLawsonia intracellularis感染症	93
	芝原友幸 (動衛研 疫学研究チーム)	
BW-3	豚のActinobacillus pleuropneumoniaeによる肉芽腫	94
	大場剛実 ¹ 、芝原友幸 ² 、高島阿里子 ¹ 、小林秀樹 ² 、久保正法 ² 、中山裕之 ³ (¹ 富山県 厚生部生活衛生課、 ² 動衛研、 ³ 東大)	
BW-4	豚コレラ疑似患畜事例における防疫手法とワクチン接種中止	94
	北野良夫 (鹿児島県 農政部畜産課)	
BW-5	豚繁殖・呼吸障害症候群 (PRRS)	95
	川島健司、芝原友幸、高木道浩、井関 博、恒光 裕 (動衛研 疫学研究チーム)	
BW-6	豚サーコウイルス関連疾病 (PCVAD) について	95
	片山貴志 (宮崎県宮崎家畜保健衛生所)	

チュートリアルセミナー

3月31日(木) 第2会場 演題番号 BTS1-1~BTS1-2 15:30~18:30

座長: 高橋公正(日獣大)、三好宣彰(鹿児島大)

【WHO腫瘍分類】: 精巣腫瘍

BTS1-1	ヒトの精巣腫瘍の病理組織分類と問題点	96
	森永正二郎 (北里研究所病院 病理診断科)	
BTS1-2	イヌの精巣腫瘍のWHO分類と問題点	96
	尾崎清和 (摂南大 薬・病理)	

スライドセミナー

4月1日(金) 第2会場 演題番号 BSS-1~BSS-4 9:00~12:00

座長: 永井博文(武田薬品)、古岡秀文(帯畜大)

組織の適応と修復(2): 線維化の病理

BSS-1	上皮間葉転換と腎間質線維化	97
	鈴木和彦 (農工大 農・獣医病理)	

BSS-2	細胞外マトリックス代謝と線維化 新井克彦	(農工大 硬蛋白研)	97
BSS-3	Mechanisms of cutaneous wound healing, based on functional properties of macrophages and myofibroblasts Juniantito Vetrizah、山手丈至	(大阪府大院 獣医病理)	98
BSS-4	マクロファージと肝線維化 熊谷和善	(第一三共株式会社 安全性研究所)	98

卒後教育セミナー

4月1日(金) 第2会場 演題番号 BTS2-1~BTS2-3 13:30~16:00

座長:大町 康(放医研)、佐藤 洋(イナリサーチ)

比較動物病理生涯教育セミナー

BTS2-1	PPAR肝臓誘発病変 牧野俊彦	(第一三共(株) 安全性研究所)	99
BTS2-2	胎盤発生と胎盤毒性病理 古川 賢	(日産化学工業株式会社 生物科学研究所 安全性研究部)	99
BTS2-3	抗体医薬の研究開発 鈴木雅実	(中外製薬 富士御殿場研究所)	100

ポスター

4月1日(金) ポスター会場 演題番号 BP-1~BP-56 コアタイム 12:00~13:00

BP-1	鞘内免疫マウスの病理組織学的解析と狂犬病発症予防効果 石田幸代、寸田祐嗣、落合謙爾、梅村孝司	(北大 獣医・比較病理)	197
BP-2	鞘内免疫ウサギの脳脊髄液中抗体価の推移とその抗体の由来 青島圭佑、寸田祐嗣、落合謙爾、梅村孝司	(北大 獣医・比較病理)	197
BP-3	アカバネウイルスOBE-1株とIriki株のマウスに対する神経向性の比較検討 塩田知恵子 ¹ 、内田和幸 ¹ 、バンブームノラスト ² 、明石博臣 ² 、中山裕之 ¹	(¹ 東大 獣医病理、 ² 東大 獣医微生物)	197
BP-4	Kinetics and pathogenicity of equine herpesvirus 9 (EHV-9) by intraperitoneal inoculation in hamsters El-Shaymaa El-Nahass ¹ 、Nagwan El-Habashi ¹ 、Mohamed Nayel ² 、Samy Kasem ² 、福土秀人 ² 、酒井洋樹 ¹ 、柳井徳磨 ¹	(¹ 岐阜大 獣医病理、 ² 岐阜大 獣医微生物)	197
BP-5	マウスにおける異常型プリオンタンパク質取り込み時期と伝達性海綿状脳症発症との関連 高野樹里 ¹ 、田代明子 ¹ 、佐藤雪太 ¹ 、黒田弥乃梨 ¹ 、横山 隆 ² 、小野寺節 ³ 、湯川眞嘉 ¹	(¹ 日本大 獣医・実験動物、 ² 動衛研 プリオン病、 ³ 東大 食の安全)	198
BP-6	6-aminonicotinamide (6-AN) を単回腹腔内投与したマウスの聴覚神経路病変 佐々木啓、山田直明、菅野 剛、佐藤順子、土谷 稔	(三菱化学メディエンス株式会社 試験研究センター 病理研究部)	198

BP-7	植物種子由来フェルラ酸のアルツハイマー病の病態モデルマウスに対する有効性 森 隆 (埼玉医大総合医療センター 研究部・病理部)	198
BP-8	ラットにおけるPPARサブタイプによる卵巣毒性の違いについて 吉田 緑 ¹ 、林 清吾 ¹ 、武田賢和 ¹ 、井上 薫 ¹ 、高橋美和 ¹ 、松尾沙織里 ¹ 、梅村隆志 ¹ 、渡辺 元 ² 、 田谷一善 ² (¹ 国立医薬品食品衛生研究所 病理部、 ² 農工大 獣医生理)	198
BP-9	マウス脳虚血モデルにおけるアミロイド 前駆体タンパク (APP) 関連分子の発現変化 坪井誠也 ¹ 、鈴木和彦 ² 、内田和幸 ¹ 、中山裕之 ¹ (¹ 東大 農・獣医病理、 ² 農工大 農・獣医病理)	199
BP-10	虚血腎傷害マウスにおけるSDF-1/CXCR4シグナル経路を介した骨髄由来細胞による腎血管内 皮再生機構 水野信哉、大西浩之 (大阪大学大学院医学系研究科 感染免疫医学講座(分子再生医学G))	199
BP-11	ラットの毛の発生過程における体性幹細胞認識抗体 A 3 陽性細胞の発現解析 市川智彩 ¹ 、堀麻由香 ¹ 、Juniantito Vetrizah ¹ 、井澤武史 ¹ 、田中勝啓 ² 、竹中重雄 ² 、桑村 充 ¹ 、 山手丈至 ¹ (¹ 大阪府大 獣医病理学研究室、 ² 大阪府大 細胞分子生物学教室)	199
BP-12	若齢ラットにみられた自然発生性変異肝細胞巣 佐藤寛子、坂入鉄也、高木司郎、北村和之 (田辺三菱製薬株式会社 安全性研究所)	199
BP-13	F344ラットに認められた盲腸憩室 植田芳英、太田泰史、高見成昭、長谷川和成、細井理代、宮島留美子、志賀敦史 ((財) 食品農薬安全性評価センター 病理臨床検査室)	200
BP-14	Simian betaretrovirus type 4 (SRV-4)のカニクイザルにおける病態解析 岡林佐知 ^{1,2} 、高野淳一郎 ¹ 、大野智恵子 ¹ 、小野文子 ¹ 、藤本浩二 ¹ 、保富康宏 ² (¹ 社団法人予防衛生協会、 ² 医薬基盤研霊長類医科学研究センター)	200
BP-15	A Case Of Idiopathic Obstructive Uropathy In A Male Cynomolgus Monkey 吉川理恵 ¹ 、Heather Sidener ² 、里 健一 ¹ 、Jeffery Engelhardt ^{1,3} 、Meliton Novilla ¹ (¹ SNBL USA, Ltd Pathology Services、 ² SNBL USA, Ltd Veterinary Services、 ³ EPL, Inc Histopathology)	200
BP-16	Fetal and neonatal goiter in cynomolgus monkeys when administered thiamazole during pregnancy 森山亜紀子 ^{1,2} 、吉川 剛 ¹ 、児玉倫哉 ¹ 、笹木祐司 ¹ 、砂川達見 ¹ 、西田善郎 ¹ 、岡山純郎 ¹ 、有馬昭宏 ¹ 、 井上歩美 ¹ 、根岸隆之 ³ 、吉川泰弘 ⁴ 、伊原敏夫 ¹ 、前田 博 ¹ (¹ 株式会社 新日本科学 安全性研究所、 ² 山口大院連獣、 ³ 青山学院大学 理工学部化学生命科学科 分子神経生物学研究室、 ⁴ 北里大 獣医学部人獣共通感染症学研究室)	200
BP-17	ムネアカタマリン (Saguinus labiatus) にみられた肝の多発性骨髄脂肪腫の1例 山口 亮 ¹ 、中村進一 ¹ 、伊藤 修 ² 、宇根有美 ¹ (¹ 麻布大 獣医・病理、 ² アドベンチャーワールド)	201
BP-18	カニクイザルにおける孔脳症の1例 黒川知香、藪内かおり、谷川洋平、岩重秀一郎、前田新也、笹木祐司、児玉倫哉、吉川 剛、 桑村有規、平川公昭、前田 博 (株式会社新日本科学)	201

- BP-19 高齢カニクイザル子宮の血管周囲を主体とする硝子様物質 201
 中村紳一朗¹、小野文字²、鳥居隆三¹
 (¹滋賀医科大学 動物生命科学研究センター、²予防衛生協会)
- BP-20 細胞診における迅速免疫染色 201
 澤真理子¹、矢吹 映¹、三好宣彰²、新井 恒³、大和 修¹
 (¹鹿児島大 獣医臨床病理、²鹿児島大 獣医病理、³鹿児島大 附属動物病院)
- BP-21 犬上顎部にみられた血管周囲壁腫瘍の一例 202
 土屋卓磨、井上彩子、北条友理、鈴木和彦、渋谷 淳、三森国敏
 (農工大 農・獣医病理)
- BP-22 筋上皮成分の増殖を主体とするイヌの混合型アポクリン腺癌の1例 202
 井上彩子、渋谷 淳、土屋卓磨、北条友理、鈴木和彦、三森国敏
 (農工大 農・獣医病理)
- BP-23 イヌの甲状腺濾胞上皮癌におけるHigh Mobility Group Box 1 (HMBG 1) およびMatrix
 Metalloproteinase (MMP) 2,9 の発現に関する検討 202
 河村芳朗¹、溝奥尋子¹、坂口佳菜子¹、宮庄 拓²、山田晋吾³、平山和子¹、松田一哉¹、岡本 実¹、
 廉澤 剛⁴、横田 博²、谷山弘行¹
 (¹酪農大 獣医病理、²酪農大 獣医生化、³株式会社シノテスト、⁴酪農大 伴侶動物医療)
- BP-24 Expression of platelet derived growth factor and its receptors in canine vascular tumors 202
 Abou Asa Samah Salem¹、酒井洋樹^{1,2}、村井厚子¹、村上麻美^{1,2}、柳井徳磨¹
 (¹岐阜大 応生・獣医病理、²岐阜大 応生・比較がんセンタ-)
- BP-25 イヌの乳頭部に発生した乳管の増殖性病変の免疫組織化学的検索 203
 安野恭平¹、西山祥子¹、小林亮介¹、吉村久志²、笠井智子³、三枝早苗³、高橋公正²
 (¹麻布大 生物研、²日獣大 獣医病理、³北川犬猫病院、⁴麻布大 獣医病理)
- BP-26 犬における眼窩内横紋筋肉腫の1例 203
 加藤祐樹、村上麻美、平田暁大、酒井洋樹、柳井徳磨 (岐阜大 獣医病理)
- BP-27 精巢に間細胞腫と骨肉腫がみられた犬の1例 203
 大塚浩予¹、上家潤一¹、菱山信也²、代田欣二^{1,3}
 (¹麻布大 獣・病理学、²菱山動物病院、³麻布大 生物科学総合研究所)
- BP-28 イヌ乳腺腫瘍細胞株への化学物質投与による細胞増殖および分化誘導能の検討 203
 渡邊 学¹、Chen Iris¹、石倉康裕¹、中川貴之²、望月 学²、西村亮平^{2,3}、佐々木伸雄²、
 菅野純夫¹
 (¹東大院 新領域・メディカルゲノム専攻・ゲノム制御医科学分野、
²東大院 農学生命研究科 獣医外科学教室、
³東大院 農学生命研究科 高度医療学教室)
- BP-29 完全長cDNAデータを用いたイヌ肥満細胞腫細胞株特異的発現遺伝子群の同定 204
 Chen Iris¹、渡邊 学¹、萱橋朋子¹、佐久間萌里佳¹、澤井直己¹、成島大智¹、
 菅野研シーケンス解析チーム¹、中川貴之²、望月 学²、西村亮平^{2,3}、佐々木伸雄²、鈴木 穰¹、
 菅野純夫¹
 (¹東大院 新領域・メディカルゲノム専攻・ゲノム制御医科学分野、
²東大院 農学生命研究科 獣医外科学教室、
³東大院 農学生命研究科 高度医療学教室)

BP-30	北東北地方で室外飼育されていた犬2例における住肉孢子虫感染 佐々木淳 ¹ 、市川まどか ² 、板垣 匡 ² 、岡村泰彦 ³ 、御領政信 ¹ (¹ 岩手大 農・獣医病理、 ² 岩手大 農・獣医寄生虫病、 ³ 岩手大 農・小動物外科)	204
BP-31	犬の乳腺未分化癌におけるS100A4の発現 大塚 綾、吉村久志、道下正貴、塚田晃三、高橋公正 (日獣大 獣医病理)	204
BP-32	アメリカンコッカースパニエル種で見られる肝炎における細胞外マトリクスについての病理組織学的検討 溝奥尋子 ¹ 、坂口佳菜子 ¹ 、河村芳朗 ¹ 、賀川由美子 ² 、青木祐子 ² 、平山和子 ¹ 、岡本 実 ¹ 、 谷山弘行 ¹ (¹ 酪農大 獣医・獣医病理、 ² ノースラボ)	204
BP-33	ウェルシュコーギーに見られた変性性脊髄症の一例 櫻井 優 ¹ 、森田剛仁 ¹ 、長井 新 ² 、藤岡 透 ² 、大和 修 ³ 、島田章則 ¹ (¹ 鳥取大 農・獣医病理学、 ² アイビー動物クリニック、 ³ 鹿児島大 農・臨床病理学)	205
BP-34	猫の脳に発生した組織球肉腫の1例 辻まりこ ¹ 、佐々木淳 ¹ 、神志那弘明 ² 、片山泰章 ³ 、御領政信 ¹ (¹ 岩手大 農・獣医病理、 ² 岐阜大 応用生物科学・獣医臨床放射線、 ³ 岩手大 農・小動物外科)	205
BP-35	心臓に原発し転移のみられたネコの神経節細胞腫の一例 小林亮介 ¹ 、大崎弥生 ² 、荻原喜久美 ³ 、斑目広郎 ⁴ 、三枝早苗 ² 、代田欣二 ^{1,5} (¹ 麻布大 生物研、 ² 北川犬猫病院、 ³ 麻布大 環境病理、 ⁴ 麻布大 附属動物病院、 ⁵ 麻布大 獣医病理)	205
BP-36	骨化生を伴ったネコの肝線維症 池田 学、丸山静香、笹栗美恵子、植木秀彰、荒井節夫 (北里研究所 生物製剤研究所 開発研究部門 病理研究室)	205
BP-37	豚繁殖・呼吸障害症候群ウイルス (PRRSV) 実験感染豚の病理組織学的解析 鈴木敬之、平 修、佐藤哲朗、上塚浩司、富岡ひとみ、長尾亜貴、竹山夏実、小祿和希、 小玉敏明、土井邦雄、布谷鉄夫 (財団法人 日本生物科学研究所 研究2部)	206
BP-38	離乳豚にみられたActinobacillus suisによる全身感染症 佐々木羊介 ^{1,2} 、Emmanuel KABALI ^{2,3} 、芝原友幸 ² 、小林秀樹 ² 、清水稚恵 ⁴ 、森田大輔 ⁴ 、 久保正法 ² (¹ 明治大学 農学部、 ² 動衛研、 ³ ザンビア大学、 ⁴ 北海道石狩家畜保健衛生所)	206
BP-39	豚の消化管内寄生原虫の保有調査 油井 武 ¹ 、芝原友幸 ² 、亀田光澄 ³ 、近真理奈 ⁴ 、山本徳栄 ⁴ 、久保正法 ² 、谷山弘行 ⁵ (¹ 埼玉県 中央家畜保健衛生所、 ² 動衛研 疫学研究チーム、 ³ 埼玉県 秩父高原牧場、 ⁴ 埼玉県 衛生研究所、 ⁵ 酪農大 獣医・病理)	206
BP-40	豚におけるLawsonia intracellularisの感染成立にはLPSが必要である 三上 修、小野寺利幸、勝田 賢、河本麻理子 (動衛研 東北支所)	206
BP-41	HPCD子豚における豚テシオウイルスの経口、経鼻接種による非化膿性脳脊髄炎の再現 山田 学 ¹ 、山本 佑 ¹ 、中村菊保 ¹ 、伊藤 満 ^{1,2} 、宮崎綾子 ¹ 、恒光 裕 ¹ 、成田 實 ^{1,3} (¹ 動衛研 ウイルス病研究チーム、 ² 北海道、 ³ 共立製薬)	207

- BP-42 反芻動物における口腔内液性免疫機構の解明 -ウシの唾液について- 207
 坂口佳菜子¹、溝奥尋子¹、河村芳郎¹、岡本 実¹、松田一哉¹、平山和子¹、宮庄 拓²、翁長武紀³、
 小岩政照⁴、横田 博²、谷山弘行¹
 (¹酪農大 獣医病理学、²酪農大 獣医生化学、³酪農大 獣医栄養生理学、
⁴酪農大 生産動物医療)
- BP-43 Immunophenotypical properties of macrophages and myofibroblasts in fasciola-infested
 cirrhotic cattle liver 207
 Golbar Hossain Md.、井澤武史、桑村 充、山手丈至 (大阪府大院 獣医病理)
- BP-44 西モンゴルで発生した植物(*Oxytropis glabra*) 中毒によるヤギの小脳運動失調症(2) 207
 田中啓之、武田周二、島田章則、森田剛仁 (鳥取大 農・獣医病理)
- BP-45 若齢豚でみられた小腸神経節細胞腫の1例 208
 村上麻美¹、酒井洋樹¹、水谷健士²、柳井徳磨¹
 (¹岐阜大 獣医病理学教室、²岐阜県 食肉衛生検査所)
- BP-46 黒毛和種新生子牛の空腸における先天性神経節細胞腫の1例 208
 黒田雄介¹、佐々木淳¹、Devkota Bhuminand²、山岸則夫²、御領政信¹
 (¹岩手大 農・獣医病理、²岩手大 農・大動物診断治療)
- BP-47 採卵鶏における伝染性喉頭気管炎ウイルスと *Pasteurella multocida* 感染による顔面腫脹 208
 関口真樹¹、芝原友幸²、佐藤岳彦¹、松本敦子¹、飯田直樹³、塚本健司²、久保正法²
 (¹千葉県中央家畜保健衛生所、²動衛研、³千葉県東部家畜保健衛生所)
- BP-48 Infectious bursal disease virus 接種鶏ファブリキウス嚢における機能と形態の関連性解析 208
 相原尚之、堀内雅之、嶋崎洋子、曳地七星、石川容子、大石弘司
 (農水省 動物医薬品検査所)
- BP-49 鶏アデノウイルス感染症におけるアデノウイルスの卵黄囊上皮細胞への感染性 209
 小笠原一憲¹、尾形 透¹、佐々木淳¹、川崎武志²、御領政信¹
 (¹岩手大 農・獣医病理、²人と鳥の健康研究所)
- BP-50 トリの神経膠腫誘発ウイルスの感染性分子クローンの作製 209
 小原昭子¹、落合謙爾¹、前田秋彦秋彦²、越智章仁¹、藪下広樹¹、光廣直貴¹、寸田祐嗣¹、
 梅村孝司¹ (¹北大 獣医・比較病理、²京都産業大学 総合生命科学部)
- BP-51 トリレトロウイルス感染鶏に認められた心筋の形態異常 209
 藪下広樹、落合謙爾、越智章仁、光廣直貴、小原昭子、寸田祐嗣、梅村孝司
 (北大 獣医・比較病理)
- BP-52 野外で発生した鶏の多発性神経周膜腫の病理学的ならびに疫学的検索 209
 光廣直貴、落合謙爾、越智章仁、藪下広樹、小原昭子、寸田祐嗣、梅村孝司
 (北大 獣医学部・比較病理学教室)
- BP-53 オキゴンドウの *Fusarium solani* による深在性肉芽腫性皮膚炎の1症例 210
 田中美有¹、井澤武史¹、桑村 充¹、中尾建子²、伊藤 修²、前園優子²、佐野文子³、村田倫子⁴、
 村上 賢⁴、山手丈至¹
 (¹大阪府大 獣医病理学教室、²アドベンチャーワールド、
³千葉大学 真菌医学研究センター、⁴麻布大 分子生物学研究室)
- BP-54 輸入ギリシャリクガメ (*Testudo graeca*) の致死性ヘルペスウイルス感染症の流行 210
 豊島琢文¹、堀口裕生²、村上 賢²、宇根有美¹
 (¹麻布大 獣医・病理、²麻布大 獣医・分子生物)

- BP-55 エジプトルーセットオオコウモリ *Rousettus aegyptiacus* に発生した *Yersinia pseudotuberculosis* 感染症 210
接待創太¹、中村進一¹、岡谷友三Alexandre²、林谷秀樹³、占部智子⁴、生井 聡⁴、
宇根有美¹
(¹麻布大 獣医病理学研究室、²麻布大 獣医公衆衛生学第二研究室、
³農工大 大学院農学研究院、⁴東武動物公園)
- BP-56 飼育下両生類の自然発生性ツボカビ症に対するイトラコナゾールの有用性の検討 210
田向健一^{1,2}、宇根有美²、富永 篤³、鈴木一隆⁴、五箇公一⁴
(¹田園調布動物病院、²麻布大 獣医・病理、³琉球大 教育、⁴国立環境研)